

LiveTalk リンク、機能とサービス FAQ

よくある質問

1. デバイス接続と使い始め

Q1：登録・ログインしなくても LiveTalk を使えますか？

はい。LiveTalk は「ゲストモード（ログイン不要）」に対応しています。APP をダウンロードしてプライバシーポリシーに同意すれば、登録やログインなしでデバイスを接続し、翻訳などのコア機能を利用できます。

いつでも APP 内でアカウントにログインできます。ログイン後、ゲスト期間中のデバイス情報は自動的にアカウントに紐付けられ、接続済みのデバイスは接続されたままになります。

注意：追加パックの購入やプランのご契約前には、ログインが必要です。

Q2：デバイスを受け取ったら、どうやって Timekettle APP をダウンロードしますか？

開封後、クイックスタートガイドの QR

コードをスキャンすると、すぐにダウンロードページにアクセスできます。App Store (iOS) や Google Play / 各種 Android アプリストアで「Timekettle」を検索してダウンロードすることもできます。

Q3：LiveTalk をスマホに接続するにはどうしますか？

APP を開いてログイン（またはゲストとして入室）したら、以下の手順で接続してください：

1. ペ어링ページを開く：ログインに成功すると、APP

は自動的にペ어링ページを表示します。ページ中央には Timekettle 現行モデルのふた開きアニメーションが表示されます。

2. 「ペ어링」をタップして検索開始：タップすると、Bluetooth

権限を求めるシステムポップアップが表示されます。「許可」を選択してください。

－ 誤って「拒否」をタップした場合、APP

に「システム権限を取得」というヒントが表示され、システム設定に移動して Bluetooth をオンにするよう案内します。

－ 手動で接続（任意）：「手動で接続」をタップして、手動デバイスペ어링ページを開くこともできます。

3. イヤホンを見つける：APP は周囲の Timekettle デバイスを自動的に検索します。見つかり、デバイスのアイコンと名前が表示されます。近くに複数のデバイスがある場合は、左右にスワイプして選択できます。

4. 「セットアップ」をタップして完了：

- Android：「セットアップ」をタップすると、直接接続できます。
 - iOS：「セットアップ」をタップし、APP の案内に従って設定 - Bluetooth に移動し、Timekettle デバイスを手動でペアリングしてください。
5. 接続完了：接続が完了するとデバイスホームページに移動し、翻訳の利用を開始できます。

Q4：ペアリング時にデバイスが見つからない場合はどうしますか？

- 充電ケースのふたが開いていることを確認してください（ふたを開けている時のみ、イヤホンは検索されます）；
- スマホの Bluetooth がオンになっており、APP に Bluetooth 権限が付与されていることを確認してください；
- スマホをイヤホンの近くに置いてください（1 メートル以内推奨）；
- それでも見つからない場合は、イヤホンを充電ケースに戻してふたを閉めてから開け直すか、スマホの Bluetooth 設定でデバイスのペアリングを解除してから再検索してみてください；
- ページの「手動で接続」をタップして、案内に従うこともできます。

Q5：ペアリングモードに入る方法と、リセットする方法は？

シナリオ	操作	LED の動作
ペアリングモードに入る	充電ケースのふたを開けた状態で、ケースのボタンを 3 秒間長押し	白ランプがゆっくり点滅 → ペアリングモードに入ったことを示し、スマホで検索可能
イヤホンをリセット	イヤホンを充電ケースに入れ、ケースのボタンを 8 秒間長押し	ランプが 3 秒間点灯してから消灯 → リセット成功。リセット後、左右のイヤホンは自動的に再ペアリングし、通常の手順でスマホに再接続可能

Q6：イヤホンのバッテリー、充電ケースのバッテリーを確認する方法、充電方法は？

シナリオ	操作	LED の動作
ケースのバッテリー確認	ふたを開ける、またはふたを閉めた状態でケースのボタンを短押し	白ランプが数秒点灯して消灯 → バッテリー十分 (>10%)
イヤホンのバッテリー確認	イヤホンをペアリングし APP 内で確認	赤ランプ点滅 → バッテリー 10% 以下、早めに充電を
イヤホンとケースを充電	イヤホンをケースに入れ Type-C 充電ケーブルを接続	ランプが 1 回点滅 → イヤホンが正しく装着され充電開始；白ランプゆっくり点滅 → ケース充電中；白ランプ約 8 秒点灯して消灯 → 満充電

Q7：ファーウェイ HarmonyOS

スマホでイヤホン接続後、音が小さい場合はどうしますか？

スマホの「設定 - Bluetooth」を開き、接続済みの LiveTalk デバイスを選んで詳細に入り、「絶対音量同期」を確認してオンにしてみてください（機種によって「絶対音量」または「Bluetooth 音量をスマホと同期」と表示されます）。オンにした後、Bluetooth を一旦切断して再接続し、スマホとイヤホンの音量をそれぞれ調整してください。

2. 操作とコントロール

Q8：イヤホンのタッチ操作について

シチュエーション	操作
音楽モード：再生/一時停止	ダブルタップ
音楽モード：前の曲	トリプルタップ
音楽モード：次の曲	トリプルタップ
通話モード：電話に応答	ダブルタップ
通話モード：通話を切る	長押し
音声アシスタント	長押し（非通話時）

Q9：イヤホンのタッチ操作をカスタマイズできますか？

はい。LiveTalk デバイスホームページ → タッチ設定で、左耳/右耳それぞれのダブルタップ、トリプルタップ、長押しジェスチャーに機能を割り当てられます。再生/一時停止、前の曲/次の曲、音量大/小、操作なしなどが選べます。すべてのタッチ操作をグローバルにオフにすることもできます。

注意：通話関連ジェスチャー（応答、切断）は初期設定のままで、変更できません。

3. 翻訳機能と利用モード

Q10：LiveTalk にはどんな翻訳・利用モードがありますか？

LiveTalk は 4 つのコア利用モードに対応しています：

モード	利用シーン
対面翻訳	チャット、旅行、買い物、注文など、顔を合わせたの異言語コミュニケーション。話者と言語を自動認識
聴取翻訳	授業、講演、学会などの一方向コンテンツを聴く
通話翻訳	異言語の電話/音声通話をリアルタイム翻訳
マルチメディア翻訳	音声/動画コンテンツをリアルタイム翻訳

さらに翻訳中は AI リファインで訳文を最適化できます。聴取翻訳モードでは「AI まとめ」にも対応しています。

Q11：聴取翻訳モードで要点を自動的にまとめてくれますか？

はい。聴取翻訳モードでは「AI まとめ」が、聴いている内容に基づいてリアルタイムでトピックと要約をタイムライン形式に整理します。翻訳終了後は翻訳履歴からも確認でき、授業や会議の復習に便利です。

Q12：翻訳は何言語に対応していますか？

54 言語、108 の口音、25 のオフライン言語ペアに対応しています。詳細は以下のリンクをご覧ください：<https://www.timekettle.co/pages/language-supported>

Q13：周囲のノイズは翻訳品質に影響しますか？改善するには？

スマホとイヤホンを話者の近くに置いて、周囲のノイズ干渉を減らすと翻訳精度が向上します。

Q14：デュアルデバイス接続時に翻訳機能は使えますか？

マルチメディア翻訳モードと通話翻訳モードは、デバイス間翻訳に対応しています。APP で対応する機能を開くだけで、APP をインストールしていない他方のデバイスでも翻訳機能を利用できます。

Q15：翻訳モードは片耳で使えますか？

翻訳モードを正常に利用するには、両方のイヤホンが Bluetooth で同時に接続されている必要があります。片耳だけの単独利用には対応していません。

4. サブスクリプションサービス

Q16：LiveTalk にはどんなサービスプランがありますか？それぞれ何が使えますか？

LiveTalk は、ライトからヘビーまでさまざまなニーズに対応する 4 つのサービスプランを提供しています：

プラン	月額料金	年額料金	利用可能時間
無料プラン	無料	無料	1 デバイスあたり 200 分/月
Pro プラン	¥38/月 (\$5.99)	¥398/年 (約 \$59.99、約 \$4.99/月)	サブスクリプション周期ごとに 300 分
無制限プラン	¥68/月 (\$9.99)	¥698/年 (\$95.99、約 \$7.99/月)	サブスクリプション周期ごとに無制限
追加パック	¥88/回 (\$12.99)、単発購入	—	600 分、単発購入、永久有効

ざっくり言うと：たまに使うなら無料プラン、よく使うなら Pro プラン、高頻度でヘビーに使うなら無制限プラン、たまに足りない時は追加パックで補う、という選び方になります。

Q17：無料プランで十分ですか？1 ヶ月に何分使えますか？

無料プランはすべての LiveTalk

デバイスで標準で有効になっており、購入は不要です。各デバイスで毎月 200 分のオンライン翻訳時間が付与され、対面翻訳、聴取翻訳、通話翻訳、マルチメディア翻訳など、すべての翻訳モードで利用できます。

無料時間は毎月 1 日に自動的に 200

分にリセットされます（上書きリセットのため、前月使い残した分は翌月に繰り越されません）。

注意：無料時間はデバイス本体に紐付くため、お持ちの各 LiveTalk デバイスにそれぞれ独立した 200 分/月の枠があります。

Q18：無料時間、サブスクリプション時間、追加パック時間の違いは？翻訳時はどれから消費されますか？

LiveTalk は「無料時間 + サブスクリプション時間 + 追加パック時間」の 3 段構成の時間システムを採用しています。詳細は下表の通りです：

時間の種類	取得方法	紐付先	有効期間	例
無料時間	デバイスごとに毎月 200 分自動付与	デバイス	毎月 1 日リセット、累積不可。サブスク加入/解約に影響されず、常に毎月 1 日に 200 分付与	
サブスクリプション時間	サブスクリプションに加入すると特典が即時付与（例：Pro プランなら 300 分）。加入後も無料時間は影響を受けず、ゼロクリアもリセットもされず、そのまま残る。無制限プランは時間無制限	アカウント	サブスクリプション周期ごとに更新、期限でゼロクリア、累積不可。周期は加入日から起算	1 日に 200 分の無料時間を取得し 100 分使用；15 日に Pro プランに加入すると、即時 300 分のサブスク時間が付与。無料残り 100 分はそのまま残り、利用可能 400 分、合計 500 分。無料時間から優先的に消費し、無料がなくなったらサブスク時間を消費。翌月 1 日に無料時間が 200 分にリセット、15 日にサブスク時間が 300 分にリセット
追加パック時間	別途購入（600 分）	アカウント	永久有効、なくなるまで利用可	

消費順（全ユーザー共通）：無料時間 → サブスクリプション時間 →

追加パック時間（無料が先に消費され、次にサブスク時間、最後に追加パック時間）。

Q19：料金はいくらですか？月額と年額はどちらがお得ですか？

詳細な料金は Q16 のプラン表をご覧ください。補足説明：

－ 月額：当月分を一括でお支払いいただきます。サブスクリプション周期（加入日から起算、例：15 日加入なら毎月 15 日）ごとにサブスク時間が自動更新されます。

－ 年額：1 年分を一括でお支払いいただくと割引が適用されます（Pro 年額は約 \$11.88 お得、無制限年額は約 \$23.88 お得）。サブスク時間の更新サイクルは月額と同様、加入日から起算します。

－ 年額プランでも、1 年分の翻訳時間が一度に付与されるわけではありません。年額料金は Apple Store / Google Store によって年に 1 回徴収されます。Pro プランの場合、翻訳時間は月 12 回に分けて 1 回あたり 300 分ずつ付与され、各回の残り枠は次の権利月に繰り越されません。無制限プランの年額は、12 ヶ月連続の無制限権利月となります。

－ 人民元と米ドルの価格は固定です。その他の国・地域の価格は、現地の為替レートと税率に基づいて Apple/Google が自動調整します。実際の金額は App Store / Google Play の表示に従ってください。サブスクリプションの請求サイクル（Apple/Google が管理、いつ請求・更新・返金するかを決定）と、権利付与サイクル（LiveTalk が管理、翻訳時間の付与・リセットタイミングを決定）は分かれています。

Q20：翻訳の途中で時間がなくなったら、強制的に中断されますか？

いいえ。LiveTalk には「翻訳中断なしプロテクション」があります。翻訳中にすべての時間（無料 + サブスク + 追加パック）がなくなっても、現在の翻訳は中断されず、完全な翻訳体験を保証します。

－ 翻訳中に時間が尽きても、APP 上部に常駐リマインダーバー「時間がなくなりました。体験のため、今回の翻訳は中断されません」が表示されます。

－ 能動的に翻訳を終了した場合、または利用可能時間がない状態で新しい翻訳を開始しようとした場合にのみ、ペイウォール（Paywall）が表示されます。

Q21：サブスクリプションの期限切れと解約について

－ サブスクリプションの期限が切れると、自動的に無料ユーザーに戻ります。無料時間は毎月 1 日に通常通り 200 分付与されます；サブスク期限切れや解約によって、無料時間が再付与されたりリセットされたりすることはありません。

－ 次回以降のサブスクリプションをキャンセルした場合、現在のサブスク周期の時間特典は期限日まで有効です。期限が来て初めて無料プランに戻り、無料時間が再計算されます。

例：ユーザーが 15 日に Pro プランに加入し、今月 30 日に自動更新をキャンセルした場合。

－ 30 日のキャンセルは現在の周期には影響せず、Pro プランの特典は来月 15 日の期限まで有効；

－ 15 日の期限後、無料プランに戻り、サブスク時間はゼロクリア、無料時間は再付与されない；

－ 無料時間は常に毎月 1 日に 200 分ずつ通常付与され、サブスク期限とは無関係。

Q22：LiveTalk

デバイスが複数あります。サブスクリプションと時間は共有できますか？

はい。ただし時間の種類によります：

－ サブスクリプション時間と追加パック時間はアカウントに紐付き、同アカウント内のすべての LiveTalk デバイスで共有されます；デバイスを変えても自動的に引き継がれ、移行作業は不要です。

- 無料時間はデバイスに紐付き、各 LiveTalk デバイスごとに独立した 200 分/月の枠があります。

注意：1 つのアカウントに複数の LiveTalk

を紐付け可能。サブスク/追加パックはアカウント内で共有、無料時間はデバイスごとに独立です。

Q23：サブスクリプションに加入するにはどうしますか？どんな支払い方法に対応していますか？

加入手順：Timekettle APP を開く → LiveTalk デバイスホームページまたはサブスク管理ページに移動 → 「プランをアップグレード」をタップ、またはペイウォール（Paywall）でプランを選択 → 支払いを完了してください。

お使いのデバイスと地域に応じて、支払い方法が自動的に選ばれます：

支払いチャネル	対象ユーザー	管理場所
Apple IAP	iOS ユーザー	設定 → Apple ID → サブスクリプション
Google IAP	海外 Android ユーザー	Google Play → サブスクリプション
WeChat	中国大陸 Android ユーザー	WeChat - サブスクリプション管理；都度購入のみ（1 回につき 1 ヶ月分または 1 年分）

注意：ログインしていなくても無料時間は利用できますが、追加パックの購入やサブスクリプション加入前にはログインが必要です。特典をアカウントに紐付けるためです。

Q24：プランをアップグレードするには（Pro→無制限、月額→年額など）？

APP 内に「プランをアップグレード」と「支払い周期をアップグレード」の入口があります：

- プランアップグレード（例：Pro→無制限）：即時に有効化され、即時に請求されます。旧プランの残価処理はプラットフォームによって異なります—Apple は通常、比例返金されます（請求 1 件と返金 1 件が発生する場合があります）。Google は通常、追加のサブスク時間に換算されます（次回更新日が繰り下がります）。支払確認画面とストアのサブスクリプションページをご確認ください。

- 周期アップグレード（月額→年額）：年額料金は元の月額更新日に請求されます；年額特典は実際の支払いが完了してから付与されます；それまでは現在の月額特典を引き続き利用できます。Google Play のサブスクページには先に年額プランが表示されることがありますが、年額が実際に有効になるまで APP 上は現在の月額特典が表示されます。

- 追加パックはいつでも追加購入できます。

Q25：サブスクリプションの更新請求に失敗したらどうなりますか？

ストアでの更新請求に失敗した場合、再請求が試行されます。バックエンドで猶予期間が有効になっていれば、通常は猶予期間中もサブスク特典を引き続き利用できます；猶予期間が終了しても支払いが完了していない場合、特典は停止または期限切れとなることがあります。

Q26：解約するには？ダウングレードはできますか？

いつでも解約でき、違約金はかかりません。サブスクリプションを解約すると自動更新がオフになりますが、返金とは異なります。解約後も現在のお支払い周期の特典は有効で、期限後に自動的に無料プラ

ンに戻り、それ以降の請求は発生しません。

APP 内にはダウングレード・解約・返金の入口はありません。各操作は対応するプラットフォームのサブスクリプション管理ページで行ってください：

- iOS：設定 → Apple ID → サブスクリプション
- 海外 Android：Google Play → サブスクリプション
- 中国大陸 Android：都度購入の場合は手動解約は不要で、期限後に自動的に特典が終了します。

下位プランに変更したい場合は、一度解約して現在の周期が終了してから、下位プランに再加入してください。

Q27：機種変更 / APP 再インストール /

アカウント切り替えをしても、サブスクリプションは残りますか？

サブスクリプションはアカウントに紐付いています。デバイスを変えたり APP を再インストールしても、同じアカウントでログインすれば特典は自動的に復元されます。

- iOS ユーザー：ログインアカウントを切り替えた後、サブスクリプションページの「購入を復元」をタップしてください。Apple ID のサブスク履歴に基づいてシステムが自動的に復元します。
- 1 つのサブスクリプションは同時に 1 つのアカウントにのみ紐付けられます；「この Apple ID のサブスクリプションは既に他のアカウントに紐付けられています」と表示された場合は、元のアカウントに切り替えてご利用ください。
- Android：「購入を復元」ボタンは不要です（iOS サブスクリプションはサーバー側でアカウント単位に自動復元されます）。

注意：プラットフォームをまたいだ管理：購入したプラットフォームで管理してください。元のプラットフォームにいない場合、APP が案内を表示します（例：「このサブスクリプションは App Store で購入されたものです。iPhone で管理してください」）。

Q28：サブスクリプションや追加パックは返金できますか？

サブスクリプションと追加パックはデジタル商品です。返金規則はチャネルによって異なります：

チャネル	返金規則
Apple	Apple が決定。reportaproblem.apple.com から申請
Google	購入後 48 時間以内は自動返金可。それ以降は Google サポートに連絡
WeChat	デジタル商品のため、購入後の返金には対応していません（購入ページに明記）

返金が確定した後：サブスクリプションは直ちに終了し、残りのサブスク時間はゼロクリア、自動更新も同時にキャンセルされます。既にリセット付与された無料時間は回収されません。

Q29：アカウント削除時にサブスクリプションが残っていたらどうなりますか？

アカウント削除時に有効なサブスクリプションがあると、APP がまずポップアップでお知らせします：

- 「サブスクリプションを管理」をタップ → App Store（または対応プラットフォーム）に移動し、先にサブスクリプションを処理してください；
 - 「削除を続ける」をタップ → 本人確認の手続きへ進み、アカウント削除を完了します。
- 引き続きの請求を避けるため、アカウント削除前にサブスクリプションを解約することをお勧めします。

5. イヤホン管理

Q30：LiveTalk のサウンドエフェクト（EQ）を調整するにはどうしますか？

LiveTalk デバイスホームページ → サウンドエフェクトから選べます：

- デフォルト：工場出荷時のバランスの取れた音質プロファイル。
- プリセット EQ：重低音、ボーカル、ポップ、ロック、クラシック、ジャズ、カントリーなど、多彩なスタイルをワンタップで切り替え。タップで即座に反映されます。
- カスタム EQ：「カスタム EQ」ページで、各周波数帯を $\pm 6\text{dB}$ の範囲で 1dB ステップで調整し、自身のプリセットとして保存できます。最大 10 個まで保存可能。

注意：サウンドエフェクトの調整には、イヤホンが Bluetooth で接続されている必要があります；設定に失敗した場合は Bluetooth 接続を確認して再試行してください。

Q31：LiveTalk を 2 台のデバイスに同時に接続できますか？

はい。LiveTalk は Bluetooth デュアル接続（Bluetooth Multipoint）に対応しています：

- デバイスホームページ → デュアルデバイス接続 のスイッチをオン（初期状態はオフ）。
- 最大 2 台同時に接続可能。リストには各デバイスの名前と状態（再生中 / 接続済み・待機）が表示されます。
- 「新しいデバイスを追加」をタップするとペアリングガイドに従えます；既に 2 台接続されている場合は、1 台先に切断してから追加してください。

Q32：イヤホンをなくしたらどうしますか？

イヤホンが Bluetooth 接続されている状態で、LiveTalk デバイスホームページ → イヤホンを探すを開いてください：

- 「左耳を探す」「右耳を探す」がそれぞれ用意されています。タップすると、該当するイヤホンが最大音量で連続的にブザー音を鳴らし、インジケータランプが点滅し続けて場所を知らせます。
- 「停止」を再度タップするか、Bluetooth 接続が切れると、ブザー音は止まります。

Q33：イヤホンが Bluetooth 接続されていない時、APP でできることは何ですか？

LiveTalk が Bluetooth 接続されていなくても、デバイス詳細ページを開くことはできます（例：デバイスを切り替えたい場合など）。その場合：

- キャッシュされた「イヤホン情報」のみ表示されます；
- バッテリー、サウンドエフェクト、デュアルデバイス接続、タッチ設定、イヤホンを探すなど、接続が必要な機能は一時的に非表示になります。

Bluetooth が再接続されると、これらの機能が再び利用可能になります。